

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【公表番号】特表2003-519076(P2003-519076A)

【公表日】平成15年6月17日(2003.6.17)

【出願番号】特願2001-550166(P2001-550166)

【国際特許分類】

C 0 3 C 25/24 (2006.01)

G 0 2 B 6/44 (2006.01)

【F I】

C 0 3 C 25/02 B

G 0 2 B 6/44 3 0 1 A

G 0 2 B 6/44 3 7 1

【誤訳訂正書】

【提出日】平成19年11月27日(2007.11.27)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 光ファイバを被覆するための組成物であって、
15重量パーセント以下の量で含有されるオリゴマー成分、および
75重量パーセント以上の量で含有されるモノマー成分を含み、
前記組成物に前記オリゴマー成分が実質的に含まれていない場合に該モノマー成分が2
つ以上のモノマーからなり、前記組成物の硬化物が少なくとも650M P aのヤング率を有
することを特徴とする組成物。

【請求項2】 前記オリゴマー成分は下記(I)、(II)、(III)または(IV)
式に基づく構造を有する一種類以上のオリゴマーを含む：

$$F_1 - R_1 [\text{ジイソシアネート} - R_2]_m - \text{ジイソシアネート} - R_1 - F_1 \quad (I)$$

[式中、

F_1 はそれぞれ独立に、アクリレート、メタクリレート、アクリルアミド、N-ビニル
アミド、スチレン、ビニルエーテル、およびビニルエステルからなる群より選択される反
応性官能基であり、

R_1 はnを1～30の整数としてそれぞれ独立に $-C_{2-12}O-$ 、 $-(C_{2-4}-O)_n-$ 、 $-C_{2-12}O-(C_{2-4}-O)_n-$ 、 $-C_{2-12}O-(CO-C_{2-5}O)_n-$ 、または $-C_{2-12}O-(CO-C_{2-5}NH)_n-$ であり、

R_2 はポリエーテル、ポリカーボネート、ポリアミド、ポリウレタン、ポリ尿素、また
はこれらの組合わせであり、

mは1～10の整数である]

多官能イソシアネート $-(R_2 - R_1 - F_2)_x$ (II)

ポリオール $-[(\text{ジイソシアネート} - R_2)_m - \text{ジイソシアネート} - R_1 - F_2]_x$
(III)

または、

多官能イソシアネート $-(R_1 - F_2)_x$ (IV)

[式中、

F_2 はそれぞれ独立に、アクリレート、メタクリレート、アクリルアミド、N-ビニル
アミド、スチレン、ビニルエーテル、およびビニルエステルからなる群より選択される官

能基を表し、

R_1 は n を 1 ~ 10 の整数としてそれぞれ独立に $-C_2-1_2O-$ 、 $-(C_2-4-O)_n-$ 、 $-C_2-1_2O-(C_2-4-O)_n-$ 、 $-C_2-1_2O-(CO-C_2-5O)_n-$ 、または $-C_2-1_2O-(CO-C_2-5NH)_n-$ であり、

R_2 はポリエーテル、ポリカーボネート、ポリアミド、ポリウレタン、ポリ尿素、またはこれらの組合わせであり、

x は 1 ~ 10 の整数であり、

m は 1 ~ 10 の整数である。]

ことを特徴とする請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】 前記組成物の硬化物は少なくとも 1100 MPa のヤング率を有することを特徴とする請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】 前記モノマー成分は 80 ~ 99 重量 % の量で含有されることを特徴とする請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】 ガラス繊維と、

前記ガラス繊維を封入する 1 次被覆と、

前記 1 次被覆を封入する 2 次被覆であって請求項 1 から 4 いずれか 1 項に記載の特定の組成物の硬化物である 2 次被覆と、
を有する光ファイバ。

【請求項 6】 前記組成物の硬化物は少なくとも 900 MPa のヤング率を有することを特徴とする請求項 5 に記載の光ファイバ。

【請求項 7】 前記 2 次被覆の外表面の摩擦係数は 0.43 よりも小さいことを特徴とする請求項 5 に記載の光ファイバ。

【請求項 8】 1550 nm の波長におけるマイクロバンド減衰が 2.25 dB/m よりも小さいことを特徴とする請求項 5 に記載の光ファイバ。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0032

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0032】

$F_1 - R_1$ [ジイソシアネート - R_2] $_m$ - ジイソシアネート - $R_1 - F_1$ (I)

[式中、 F_1 はそれぞれ独立にアクリレート、メタクリレート、アクリルアミド、N-ビニルアミド、スチレン、ビニルエーテル、ビニルエステル、または当該分野で周知の他の官能基を含む反応性官能基であり、 R_1 は n を 1 ~ 30、好ましくは 1 ~ 10 の整数としてそれぞれ独立に $-C_2-1_2O-$ 、 $-(C_2-4-O)_n-$ 、 $-C_2-1_2O-(C_2-4-O)_n-$ 、 $-C_2-1_2O-(CO-C_2-5O)_n-$ 、または $-C_2-1_2O-(CO-C_2-5NH)_n-$ であり、 R_2 はポリエーテル、ポリエステル、ポリカーボネート、ポリアミド、ポリウレタン、ポリ尿素、またはこれらの組合わせであり、 m は 1 ~ 10、好ましくは 1 ~ 5 の整数である。]なお (I) 式の構造中のジイソシアネート基はジイソシアネートの R_2 及び / または R_1 への結合によって生成する反応生成物である。ここで云う「独立に」なる用語は各 F_1 は別の F_1 とは異なり得ることを示し、これは各 R_1 についても当てはまる。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0034

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0034】

多官能イソシアネート - ($R_2 - R_1 - F_2$) $_x$ (II)

ポリオール - [(ジイソシアネート - R_2)_m - ジイソシアネート - R_1 - F_2]_x (I I I)

または、

多官能イソシアネート - (R_1 - F_2)_x (I V)

[式中、 F_2 はそれぞれ独立にアクリレート、メタクリレート、アクリルアミド、N - ビニルアミド、スチレン、ビニルエーテル、ビニルエステルや当該技術分野では周知の他の官能基などの 1 から 3 官能価の官能基を表し、 R_1 は n を 1 ~ 10、好ましくは 1 ~ 5 の整数としてそれぞれ独立に $-C_2-1_2O-$ 、 $-(C_2-4-O)_n-$ 、 $-C_2-1_2O-(C_2-4-O)_n-$ 、 $-C_2-1_2O-(CO-C_2-5O)_n-$ 、または $-C_2-1_2O-(CO-C_2-5NH)_n-$ であり、 R_2 はポリエーテル、ポリエステル、ポリカーボネート、ポリアミド、ポリウレタン、ポリ尿素、またはこれらの組合わせであり、 x は 1 ~ 10、好ましくは 2 ~ 5 の整数であり、 m は 1 ~ 10、好ましくは 1 ~ 5 の整数である。] なお (I I) 式の構造中の多官能イソシアネート基は多官能イソシアネートの R_2 への結合によって生成する反応生成物である。同様に (I I I) 式の構造中のジイソシアネート基はジイソシアネートの R_2 及び / または R_1 への結合によって生成する反応生成物である。